（別紙様式4）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置許可年月日	校長名	所在地
国際ビューティモード専門学校	平成12年1月7日	浜田　芳宏	〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園1-1-12 （電話）025-240-8338
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人　新潟総合学院	平成7年3月24日	理事長　池田 祥護	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通1番町494番地3 （電話）025-210-8565

目的	本学科では日々変化する美容業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れ専門技術及び理論を修得させるとともに、企業等との連携により業界のニーズと一般教養や豊かな人間性、近代的感覚を会得した即戦力となる人材を育成する。

課程名	学科名	修業年限（昼、夜別）	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生専門課程	トータルエステティック学科	2年制 （昼）	単位時間 （又は単位）	H17年文部科学大臣告示第176号	―

教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	481単位時間 （又は単位）	32単位時間 （又は単位）	0単位時間 （又は単位）	1410単位時間 （又は単位）	単位時間 （又は単位）

生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	63人	3人	10人	13人

学期制度	■1学期：4月1日から8月31日まで ■2学期：9月1日から12月31日まで ■3学期：1月1日から3月31日まで	成績評価	■成績表（有）・無） ■成績表の基準・方法について 学科目ごとに試験を行い、点数によりランク付け
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏　　季：8月1日から8月31日まで ■冬　　季：12月25日から1月7日まで ■学 年 末：3月31日	卒業・進級条件	修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。
生徒指導	■クラス担任制（有）・無） ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡・家庭訪問　等	課外活動	■課外活動の種類 技術コンテスト参加、ボランティア活動 等 ■サークル活動（有）・無）
主な就職先	■主な就職先、業界　　美容業界 ■就職率　100%	主な資格・検定	AEA日本エステティック業協会認定エステティシャン資格
中途退学の現状	■中途退学者　2名　　■中退率　3% 平成26年4月1日在学者　65名　（平成26年4月入学者を含む） 平成27年3月31日在学者　63名　（平成27年3月卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 意欲低下・進路変更 ■中退防止のための取組 人間力向上教育（目標の明確化と達成へのモチベーション）・居場所づくり		
ホームページ	URL：http://www.beauty-mode.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

トータルエステティック学科ではエステティックサロン・リラクゼーション施設、スポーツ施設・福祉施設いずれにおいても活躍できるエステティシャン人材の育成を目指している。
現在のエステティシャンを取り巻く環境では、エステに関する専門技術及び理論と併せて、顧客とのコミュニケーションなどの接客技術が必要不可欠である。
本学科ではこれらに必要な知識・技術を学べるようカリキュラムを編成している。 また、より実践的な学びのため業界より講師を招いて現場での実際の業務を想定しながら、必要な知識の定着を図るとともに、目標とする人材像への今後のアプローチを図る上でのモチベーションを高めるよう豊富な実習をカリキュラムに取り入れている。
時代の変化に即し、より専門的な能力を育成するため、教育課程の編成においてエステティックサロン・関連団体・企業等との密接な連携により、 より実践的な職業教育の質の確保に取り組む。
そのため、専門分野に関する美容業界全体の動向、エステティックに関する知識を有する関係者から構成される委員会を組織し、意見を聴き、教育課程の編成の参考とする。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成27年4月1日現在

名　　前	所　　属
浜田　芳宏	NSBコンサルティング株式会社
関口　量子	ボディセラピー　Larimar

（開催日時）

第1回　平成27年　6月8日　17:30～19:00　第2回　平成28年2月8日　17:30～19:00

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

エステティック等美容業界の求める人材育成要請を十分活かし、エステティシャンにとって必要な実践的・専門的な能力を育成するため、実習においてエステティック等美容業界との密接な連携を通じ、実践的な職業教育の質の確保に努める。実習に当たっては、より実践的に専門知識・技術、社会人としてのマナー、社会性を身につけること、エステティシャンとしての職業観を得ることを主たる目標に置く。目指す美容業界で求められる能力と自己の現在の能力との差を知るなど、自己分析を通して目標とする人材像に近づくよう学習モチベーションを高め、今後の学修に活かす。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エステ概論	エステティックの目的・機能について学びながら、体のしくみや血流についての知識も習得することを目的として講義を行う。	NSBｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ㈱
プロエステ	エステティックの施術目的や技術について学びながら、顧客とのコミュニケーション技術や体の状況に応じた施術方法等の技術も習得することを目的として実習を行う。	NSBｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ㈱

3. 教員の研修等

（教員の研究等の基本方針）

本校の教員は専門分野において、最新の実務の知識・経験を教育内容・教育方法に反映した教育を行うことが期待されている。
そのため、法人本部、学校内および外部機関との連携の下、職業に関連した実務に関連した知識、技術・技能ならびに授業および学生に対する指導力等の修得・向上のための組織的な研修機会を確保する。

4. 学校関係者評価

（学校関係者評価委員会の全委員の名簿）

平成27年4月1日現在

名　　前	所　　属
吉川　徳夫	国際ビューティモード専門学校 校友会会長（卒業生）
板倉　宗一郎	㈱板倉庄三のサロン

（学校関係者評価結果の公表方法）

URL：http://www.beauty-mode.ac.jp/

5. 情報提供

（情報提供の方法）

URL：http://www.beauty-mode.ac.jp/